

教育研究者総覧

氏 名	新田 敦己 (NITTA Atsumi)
所 属	環境材料工学科
職 名	教授
学 位	工学博士(長岡技術科学大学)
専門分野	非晶質材料科学
クラブ顧問	バレーボール(女子)

学 歴	1989.3 長岡技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程修了
職 歴	1982.4 アプルス電気株式会社 1995.4 シャープ株式会社 1997.4 新居浜高専材料工学科(助教授)

校務分掌・担任歴	2011.4 ～2015.3 専攻科長 2016.4 ～ 学科主任
----------	--------------------------------------

講義科目	本科:工学基礎演習, 環境材料工学演習, 無機材料学, 表面工学, 電子材料学, 環境材料工学実験1
------	--

所属学会	日本セラミックス協会, 応用物理学会, 日本金属学会, 日本化学会, 日本磁気学会
現在の研究テーマ	1)光触媒機能を有するバルク結晶化ガラス開発に関する研究 2)酸化ビスマス系低融点ガラス開発に関する研究
相談可能なテーマ	セラミックス(ガラスを含む)、表面分析、光触媒に関すること

研究業績	1) "B ₂ O ₃ -TiO ₂ -SrO系ガラスにおけるAnatase型TiO ₂ の結晶化";新田敦己、福田真菜、堤 主計、齊藤信雄, 日本セラミックス協会2019年年会講演予稿集, 2L25 (2019). 2019年年会講演予稿集, 2L25 (2019). 2) "TiO ₂ 含有B ₂ O ₃ -SrO系ガラスの結晶化";新田敦己、苅田真子、堤 主計、齊藤信雄, 日本セラミックス協会2017年年会講演予稿集, 3C19 (2017). 3) "TiO ₂ ホウ酸塩系ガラスの結晶化および光触媒特性評価";苅田真子、新田敦己、堤 主計、大内忠司、吉良 真、齊藤信雄, 日本材料科学会四国支部平成27年度第24回講演大会講演概要, P.10-11 (2015). 4) "Anatase 型TiO ₂ 含有B ₂ O ₃ -TiO ₂ -BaO結晶化ガラスの光触媒特性";新田敦己、坂本祐規、堤 主計、大内忠司、吉良 真、齊藤信雄, 日本セラミックス協会2014年年会講演予稿集, 3B26 (2014). 5) "Anatase型TiO ₂ を含む結晶化ガラスの光触媒特性評価";新田敦己、坂本祐規、堤 主計、大内忠司、吉良 真, 日本セラミックス協会2013年年会講演予稿集, G22 (2013).
------	--

研究プロジェクト,
外部資金等

1)「酸化鉛を含まないビスマス系低融点ガラスの実用化」科学研究費補助金基盤研究(B), 研究代表者(2001-203)

社会貢献, 地域貢献

生涯学習大学・新居浜高専ものづくり講座「光とガラス～暮らしを変えるガラスとは～」2009.09.12
生涯学習大学・新居浜高専ものづくり講座「光とガラス～暮らしを変えるガラスとは～」2010.09.11
生涯学習大学・新居浜高専ものづくり講座「光とガラス～暮らしを変えるガラスとは～」2011.11.12
生涯学習大学・新居浜市民講座「もっと知りたいガラスの魅力～窓ガラスから最近のガラスまで～」2015.6.13

学外審議会, 委員等

国際交流